

○…交通安全を願う地蔵を救出!? 宮坂建設工業（帯広市西4南8、宮坂寿文社長）は20日午前、「新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊」（市大正町）周辺の除排雪作業を行った。写真。



業で大きな雪山が出現。「地蔵が通行するドライバーから見えるように」とボランティアで作業が始まり、今年で10年目を迎える。

○…この日は午前7時から社員18人がショベルカーやダンプ、手作業で排雪を進めた。交通事故撲滅を願い、お地蔵様がドライバーの運転を見守る。

宮坂建設工業がボランティア

地蔵尊周辺で除排雪作業

重機用いダンプ18台分を

【帯広発】宮坂建設工業（帯広、宮坂寿文社長）は20日、地域貢献の一環として、道道帯広空港線沿いにある「新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊」周辺の除排雪を行った。社員十八人が作業し、交通安全を祈願する地蔵尊の周辺に積もった雪を手寧に取り除いた。写真。

十六年から行っているもので十シブン目となる取組。数日前の降雪で積もった雪で道路



作業には小型バックホーやダンプトラックなどの重機を動員。社員もスコップを片手に雪かきし、ダンプトラック十八台分の雪を取

り除いた。作業後、社員はこれからドライバーの安全を守ってくれるよう地蔵に祈願した。

2014.02.22 北海道建設新聞

交通安全地蔵尊 周辺で除排雪

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は20日、市内にある新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊周辺で、除排雪の地域貢献活動をした。写真。

道道帯広空港線沿いの地蔵尊周辺は、道路の除雪作業によって雪山ができやすく、交差点の見通しが悪くなる。このため、同社は2004年から除排雪を手掛けている。今冬の帯広は積雪が少



ないが、ここ数週間で積もったことから、18人がタイヤシヨベルやダンプなどを使って雪山を取り除いた。

木幡彰夫土木部長は「この冬初めての除排雪作業で、交通事故防止に協力したい」と話している。